

いざというときの心得(周辺住民の皆様)

噴火警戒レベル1(噴火予報)のときには

- 霧島山の噴火の歴史や噴火の特徴について知っておきましょう。
- 家族で避難場所や避難路について、話し合っておきましょう。
- 事前に、避難時に危険な箇所を把握しておきましょう。

- 非常持ち出し品の準備をしておきましょう。



噴火警戒レベル2～3(火口周辺警報)のときには

- テレビやラジオ、防災無線などを聞いて、正しい情報を得ましょう。
- デマには惑わされないようにしましょう。
- 避難のための準備を進めましょう。
- 空振や小さな噴石に注意しましょう。

噴火警戒レベル4～5(噴火警報)のときには

- 自治体からの避難勧告・避難指示(緊急)に従いましょう。
- 電気・ガスの元栓を確認しましょう。
- お年寄りや病人など、手助けが必要な方々の避難を助けましょう。
- 慌てずに落ち着いて行動しましょう。
- 貴重品や常備薬等を忘れずに、戸締まりをして避難場所に向かいましょう。
- 落ち着いたら親戚や知人へ避難した場所などを伝えましょう。



わが家の防災メモ

いざという時の家族や親戚の避難先や居場所などについて
家族で話し合い、メモをしておきましょう。

避難場所

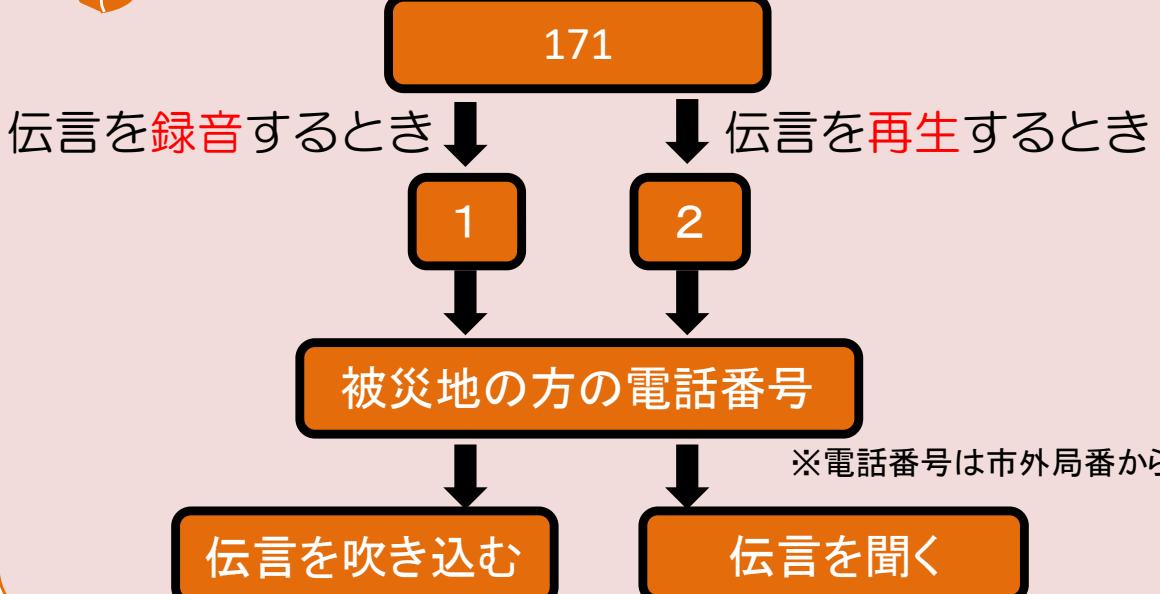
避難所

緊急連絡先 氏名

電話番号

避難が必要となる火口
および想定される火山現象

災害用伝言ダイヤルの使い方



家族の連絡先

名前	生年月日	血液型	携帯電話番号	(勤務先や居場所)	左記の電話番号